

# 2部

フィールド フィールド  
現場から現場へ

---

---

# 東北福祉大学での学び

## ～自分を変えてくれた2年間～

---

OB MESSAGE

社会福祉学科卒業生 **三浦みづき**

---

### はじめに

平成27年4月に3年次編入で通信教育部に入学し、昨年度の3月に卒業しました。以前の職場での経験から福祉について興味を持ち、何か資格を手に入れたいと考えていた際に社会福祉士という資格があることを知り、東北福祉大学通信教育部で学ぶことを決めました。仕事をしながら通信教育で学ぶということは予想以上に大変なことでしたが、諸先生をはじめ、職員の方々のご指導、一緒に学んだ通信教育部生の方々のおかげで卒業と資格取得をすることができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

今回『With』への寄稿のお話をいただき、拙文ながら私の2年間の経験についてお話させていただきたいと思います。

---

### 通信教育部での学び

福祉の現場で働いたことがなく知識がないまま入学したため、初めはどのように勉強を進めていけばよいのか戸惑いがありました。しかし、スクーリングで出会った方々から経験や体験談を聞き、アドバイスをもらいながら学習を進めていくことができました。福祉の現場を知らない私にとって、スクーリングは現場でのお話を聞かせてもらえる貴重な場でもありました。周囲の方との知識の差は比べ物にならないほどありましたが、社会福祉の道を志す気持ちは皆同じだということもわかり、とても心強かったです。一緒にスクーリングを受けていても遅れを取ってしまう私に

丁寧に指導して下さった先生方にも感謝しています。

社会福祉援助技術実習は、介護老人保健施設で受講させていただきました。実際に社会福祉士の仕事を近くで見たり経験したりすることで、社会福祉の難しさとやりがいを感じることができました。実習中は記録や調べ物でハードな毎日でしたが、現場での学びは得るものが多く、もっと学びたい、もっと深く利用者さんと関わってみたいと思えるほど充実したものになりました。

## 国家試験について

---

国家試験に向けて勉強を頑張ろうと思っていましたが、実際には仕事と実習、レポートに追われ、十分な勉強ができずに試験の日を迎えてしまいました。自分なりの努力はしたものの、合格できるかは不安な状態でした。しかし、このような私でも合格することができました。今、試験を不安に思っている方もいらっしゃるかと思いますが、最後まで諦めずに頑張ってみてください。

国家試験に向けて購入した参考書は1冊だけです（『社会福祉士国家試験のためのレビューブック』メディックメディア）。この参考書は、社会福祉に関する用語の解説などが載っており、辞書のように使えるもので、実習でもレポートでも役立ちました。実習の指導者の方が国家試験を意識した指導をしてくださったこと、レポートを書くために教科書をたくさん読んだこと、自分に合った参考書に出会えたことが合格につながったのだと思います。基本的なことではありますが、普段のスクーリングやレポートをしっかりとやること、わからないことはそのままにせず、すぐに調べることも大事だと思います。一緒に頑張ろうと励ましてくれた仲間の支えも大きかったと感じています。

## おわりに

---

今年の4月から、更生保護に関わる仕事に転職しました。社会福祉士としてではありませんが、通信教育部での学びを活かすことができます。更生保護の対象となる方にもさまざまな課題を抱えた方がおり、個性のある関わりが大切だと日々痛感しています。今こうして新しい職場で働くことができているのも通信教育部で学んだ2年間があるからです。

仕事をしながら通信教育で学ぶということはとても大変なことでしたが、それをやり遂げたのだということが自分の自信にもなっています。社会福祉を学ぶことで視野も広がり、自分を変えることができました。大切な仲間もできました。通信教育部で学んで本当によかったと思っています。資格取得がゴールではなく、自分の知識を活かして社会に貢献していくことが社会福祉士の役割だと思って今後も努力していきたいと考えています。

在学生の皆様も、それぞれの思いを抱え目標に向かって努力されていることと思います。今の頑張りが必ず自分の未来を変えてくれます。在学生の皆様のご卒業、国家試験合格を心よりお祈りしております。社会福祉の道を志す者として一緒に頑張りましょう。私の経験談が少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。ありがとうございました。